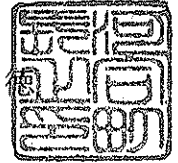




河都整第20号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

河合町長 岡井 康



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

本町が提唱する「都市機能を有する田舎づくり」を実現するためには、安全・安心を確保する事が何よりも大切であると考えている。

道路は、車両交通のみならず、各種インフラを収納する空間、延焼等を食い止める防災機能、緊急車両の通行確保、街の景観を決定づける要素等々、いろいろな用途・機能があり、安全・安心には欠くことのできない都市施設として位置づけられている。

本町における道路の整備状況は、町を南北に貫く主要路線は改良の余地はあるものの、ほぼ整備されている。これに直交する東西路線は、平成17年4月に川合上牧線が開通し、残る天理王寺線の全面開通が待たれるところとなっている。既設路線においても、渋滞を引き起こしている交差点が数カ所あり、これらの改良も課題となっている。また近年、交通量の増加や大型車両の通行により舗装劣化が激しく、オーバーレイによる改修を計画的に実施しているものの、根本的な解決にはなっていない。それに加え、道路橋の経年劣化による補修・延命措置等々道路維持に関する課題も山積している。

一方、奈良県下の道路事情を見てみると、「なら・半日交通圏道路網構想」を策定し実現化を進めているが、京奈和自動車道路の一部開通等、一定の成果を見ているものの、未だ十分な整備がなされているとは言い難い。

これらの状況を勘案すると、奈良県、河合町においては、道路整備は遅れており、これを整備促進する政策は必要不可欠である。道路特定財源が一般財源化されると、必要な道路整備資金が調達できず、ますます整備促進が遅れてしまう恐れがあると考えられることから、整備促進の完了をみるまで道路特定財源は確保しておいてもらいたい。

次に、本町の道路状況を鑑み、優先的に取り組むべき政策としては、以下のとおりである。(優先順位が高いものから)

1. エ 地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備
  - ・ 天理王寺線全線開通
  - ・ 大和高田斑鳩線拡幅
2. ウ ネットワークに繋がっていない高速道路の整備
  - ・ 京奈和自動車道と西名阪自動車道の連結
3. ア 渋滞対策
  - ・ 交差点改良、踏切拡幅
4. コ 道路管理の充実
  - ・ 舗装打換え、橋梁補修・延命

最後に、効率化を徹底する為に必要な施策としては、以下のとおりである。  
(優先順位の高いものから)

1. エ 早い段階から国民の考えや意見が十分に反映されるような取組みを行う。
2. イ 個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底する。

